

# 9月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
						1 防災の日
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13 十五夜	14	15
16 敬老の日	17	18	19	20	21	22
23 秋分の日	24	25	26	27 子ども合宿 (けやき組のみ)	28 子ども合宿 (けやき組のみ)	29
30 乳児健診						

## 保健師より

9月になりました。朝夕は少しずつ過ごしやすくなってきましたが、日中はまだまだ暑い日が続いていますね。夏の疲れが貯まらないよう体調の変化に気をつけていきましょう。

また、9月は防災週間です。9月1日防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備えての準備の再確認、子どもたちと災害時などどのように行動したらいいか話すいい機会かもしれません。

### 8月の感染症

ヘルパンギーナ 1名

### 0歳児乳児健診 9月30日(月)9時半～

つぼみぐみのみなさん当日はなるべくお休みされないよう、お願いいたします。

先月けやきぐみの子どもたちが、町田のしぜんの国保育園に遠足に行きました。

町田の子どもたちがクワガタやカマキリをつかまえて見せてくれたり、お寺までの道のりを案内してくれたりと、少しの時間ではありましたが、子ども同士が少しずつお互いの様子を伺いながら距離を縮めていく姿が印象的でした。帰り際に呼び止められ、お庭に咲いていたひまわりを花束にしてプレゼントをしてくれました。子どもたちが照れてしまい、渡すタイミング、もらうタイミングを考えているそれぞれの姿が、なんとも微笑ましかったです。

(その時の写真が表紙にあります)

September 2019

2019.9.2発行

# small alley post

## 東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

### 基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

### 9月の保育主題

『見上げれば またたく星空 すてきなお月さま』

空を見上げ、あたりを見回すと秋の訪れに気づく

## 「子どもの窓辺から」 渋谷東しぜんの国こども園 理事長 齋藤 紘良

「あんまり大きさに考え過ぎないようにしろよ。なんでも大きくし過ぎちゃダメだぜ。」  
(スナフキン)

8月に1週間、エストニアへ行ってきました。最近ではIT国家やスカイプ発祥、若者のスタートアップ地点として知られておりますが、景色は中世ヨーロッパの建築物が立ち並び、森に覆われた牧歌的な国です。そんな相対する要素を、現地の人々がどのようにしてバランスを保っているのか、肌で感じるのが今回の旅の目的でした。

空旅で9時間のフィンランドに降り、そこからフェリーに揺られて2時間ちょっとでエストニアの首都タリンに着きます。タリンは、中世の城壁に囲まれた旧市街地、工業地区をリノベーションして再生されたロツテルマン地区、クリエイターっぽい人たちが賑わうテレスキヴィ・ローメンナック地区が主な観光場所となっているようですが、私は最後のテレスキヴィ・ローメンナックでの光景が大変参考になりました。

廃線になった線路を囲んだボロボロの倉庫群を再開発して、カフェや酒場、ギャラリーや各種ショップが多く入っているのですが、舗装はガタガタのまま、建物の壁や並びも昔のままな

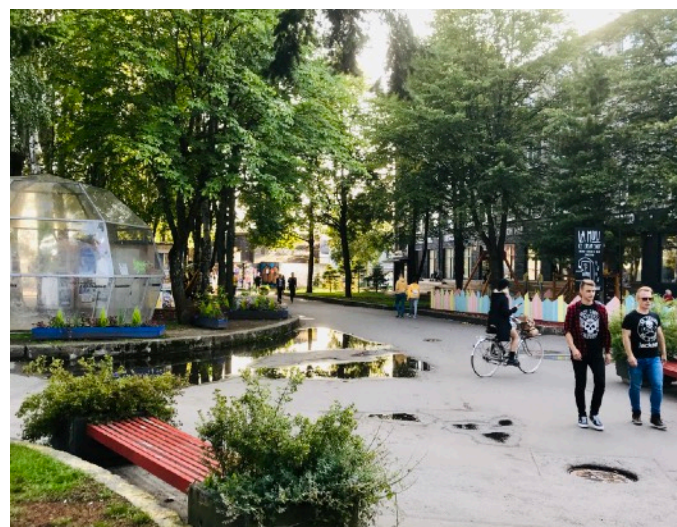
ので、崩れかけていたり変色していたりと、決して清潔ではありません。

ですが、生き返った倉庫群を歩いていると、実に活気溢れる人々の話し声や、多世代が交差する抜けの良さに、みぞおち辺りのワクワク感が止まりませんでした。”古い建物を再開発しました！”と謳い外見だけ残し、あとはほぼ総入れ替えのようなりノベーションとは明らかに違います。インフラや利便性に思案とお金を費やすのではなく、”古いものをそのまま新しい感覚で使い直す”という、アイデアや再解釈に熱量を注ぐ生き活きさが、まさに目の前で弾けているのを肌で感じたのです。

自分たちの生活の丈に合った街作りが進んでいる首都タリン。開発のフットワークが軽く、古きを受け入れる余裕があるように見えます。人間の手に負える都市の大きさはタリンくらいが、もしかすると丁度いいのかもしれません。

エストニアの古い町並みの横で、古いものを古いまま新しく使う、その軽やかな社会性に途方もなく居心地の良い未来性が隠れているんじゃないだろうか、と身震いした旅でした。

あと、物価が安かったです。



## 保育エピソード「Hくんの自販機作り」

先日から自販機作りをしていたHくん。一緒に相談しながら作り、今日ついにHくん発案の自販機が完成した。「貼り付けに行こう！」とHくんに誘われ、一緒に完成した自販機を壁に付ける。すると、近くで遊んでいた子どもたちがなんだなんだと集まってきた。Hくんが「これはね、自販機！」と教えると、周りの子どもたちも興味津々な様子で自販機を見ている。すると、Hくんはハッとした様子で「ボタンがない！」と、自販機のボタンがないことに気がついた。近くで見ていたAちゃんも、「あとさ、お金が出てくるところもないよ」と言う。それを聞いたHくんは、そうそうと頷いていた。

Aちゃんのことを聞いて、まるで「そうそう、そうなんだよ！」というような、嬉しそうな表情で頷いているHくんの姿が印象的だった。Hくんにとって、自分自身の言葉や作ったものを通して、Hくんの自販機のイメージがAちゃんと共有できたことを実感できた瞬間だったのかもしれない。大人にとっても、自分がイメージしているものが他者に伝わるということは嬉しいことだと思う。Hくんの嬉しそうな表情を見て、子ども達同士で思っていることや想像していることを伝えあい、共有していける場を大切にしたいと思った。

### 今月のsmall alley play ground

#### ピックアップスポット

こんにちは、カフェの小井土です。僕が紹介するのはお隣さんのmeganです。バーテンダーの山本君曰く、僕が一番利用してるそうです。そんなmeganラバーな僕が、その魅力をあますことなく紹介します。meganはとにかく良いところ盛りだくさんなのですが、僕がmeganラバーである所以は、山本君が作るカクテルがとにかくいい感じだからなんです(料理も最高ですよ)。昨日飲んだのは確か「ウイスキーサワー」。上に卵白が乗ってるのが特徴的でした。

最後に溜まった卵白をさらっと口に流して、さあ帰ろうと思ったその時、山本君が「バーテンダーの大会に出すカクテルが決まったので飲んでください」と言うので、僕は喜んで席に戻り、一杯いただくことにしました。ところがそんな矢先、5分も経たないうちに何組ものお客さんがあつという間に入店され、山本君はてんやわんや。それでも笑顔を全く崩さない山本君。そう、どんなことがあっても山本君は笑顔を崩さないプロなのです。大会用のカクテルということもあり、普段味わうことのない強さで、「強いなあ」と思いながらも、アルコールの度数のごとく、山本君の熱くてまっすぐな想いが込められているのを感じていたら、いつの間にかグラスにはほとんど残っていませんでした。最後の一口だけは無理して流し込んで帰路につきました。そんな素敵なバーテンダーがいるmeganですが、ソファ席もあってお子様連れにもしっかり対応してくれるので、ぜひ立ち寄ってみてください！

**Megan** 東京都渋谷区東1丁目29-3  
渋谷ブリッジB棟1F



記：小井土 雄太

